

令和7年度第2回八雲町地域公共交通活性化協議会 議事録

【開催日時・場所】

令和7年6月27日（金） 午後2時00分～午後3時10分
はぴあ八雲 コミセンホール

【出席者】

別添名簿のとおり

【内容】

1. 開会

2. 会長挨拶（岩村町長）

八雲町地域公共交通活性化協議会にご出席いただき、ありがとうございます。皆様におきましては、日頃より地域の交通ネットワークの維持、発展にご尽力をいただき誠にありがとうございます。本日は協議事項や報告事項について、審議していただき、特に八雲における地域公共交通の現状と今後についてご議論

3. 協議事項

議案第1号 地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請について（資料1）

事務局（南川主幹）から説明

○質疑応答

館下委員：資料P6、下段令和7年補助年度地域内フィーダー系統確保維持計画についてですが、令和8年の誤りだと思います。

事務局：令和8年の誤りでしたので、訂正します。

外質疑なし（承認）

議案第2号 熊石・八雲間予約バスの運賃変更について（資料2）

事務局（南川主幹）から説明

○質疑応答なし（承認）

4. 報告事項

報告第1号 八雲町地域公共交通活性化協議会部会の設置について（資料3）

事務局（南川主幹）から説明

○質疑応答 なし

報告第2号 八雲町における地域公共交通の現状と今後の取組について（資料4）

NDS（中野主任）から説明

○質疑応答

館下委員：資料 P32 の音更町コミュニティバスの延利用者数の集計期間が、令和 5 年 4 月から令和 6 年 2 月となっているが、間違いないか。

NDS：音更町地域公共交通活性化協議会の結果資料を参考にしたもので、3 月に開催した協議会での報告のため、記載のような集計期間となっている。

館下委員：運行自体は通年運行でよろしいか。

NDS：ご認識のとおりである。

外質疑なし

報告第 3 号 檜山海岸線の路線・時刻変更について（資料 5）

事務局（南川主幹）から説明

○質疑応答 なし

報告第 4 号 快速瀬棚号の廃止について（資料 6）

事務局（南川主幹）から説明

○質疑応答 なし

5. その他

<館下委員>

- ・周辺地域からすると交通、医療の面で中心となるまちと認識している。
- ・国としても今年含めた 3 年間は交通空白解消年間のため、困りごとがあれば相談していただきたい。

<樺澤委員>

- ・昨年まで小樽にいたが、どの地域も同じような問題を抱えている。
- ・運転手確保が課題、貨客混載の取組を実施している事例もある。
- ・様々な事業者との共創・連携を図っている。
- ・開発局として、道の駅の活用や路側帯での荷物載せ替え等も検討している。
- ・連携して取り組める内容があれば、連携していきたい。

<津田委員>

- ・快速瀬棚号の代替交通については、関係自治体と連携して利用促進を図りたい。
- ・OD 調査を実施して、利用実態の把握に努めたい。
- ・年 3 回、運転手就職相談会を実施しており、道内でも確保数が多い実績。

<高井委員>

- ・八雲警察署で免許返納、更新も受けている。
- ・高齢者の 8 割は免許更新を実施しているが、視力低下が問題視される。
- ・警察としても、事故経験のある方等を対象に自主返納を促している。
- ・自主返納が進むためには、利便性の確保が必要と思われる。

<柴田委員>

- ・快速瀬棚号廃止。再編後の新しい路線は、2 年目までは国・道の補助を受けられるが、利用

状況によっては3年後に国・道の補助を受けられない可能性もあるため、利用促進等に連携して取り組みたい。

- ・運転手不足についても少しずつ改善されている状況。
- ・報道でもご存知かもしれないが、体制が変わるため、今後ともよろしくお願いしたい。

<大久保委員>

- ・八雲町は、タクシーの利用距離が非常に短く、最近はより顕著になってきている。
(100~200mでの利用すらある。)
- ・足腰が悪い方が非常に多くなっているため、ドアトゥドア型の交通は必要となる。
- ・巡回型バスも有効であると思うが、町内100m~200m程度の利用だとかになるとバスも進んでいけないため、そういった方々には、タクシーが適していると思うため、タクシー券補助も継続していく必要を感じている。

<若山委員>

- ・貨客混載を昨年2月から始めたので、ご意見等あれば、ぜひ教えていただきたい。

<出崎委員>

- ・北渡島から八雲総合病院や熊石国保病院への通院で福祉タクシーをご利用いただいている。
- ・当社でお手伝いできることがあれば、よろしくお願いしたい。

<大岩委員>

- ・公共交通、運輸関係の方と意見交換する機会が定期的にある。
- ・コロナ禍によりタクシー運転手が足りていない状況があったが、コロナ禍以降、若者の雇用が増えてきていて、給与面も充実していると思っている。
- ・より良い労働環境の構築に向け、自治体支援等もいただければありがたい。

<大野委員>

- ・八雲町に適した地域交通について、議論して早いうちに見出したい。

<井口委員>

- ・熊石地域は人口1700人くらいとなった。
- ・予約タクシーの見直しはあったものの、引き続き利用を促したい。

<知野委員>

- ・地域住民、特に高齢者の方の声を聞いて、具体化していきたい。

<本田委員>

- ・貨客混載について、渡島管内の食材等のマッチングを行ってきているが、課題は物流面であるため、こういったところで貨客混載のような新たなことがあれば私たちとしても新たな取り組みも考えられるため、よろしくお願いしたい。

<伊藤委員>

- ・商工業者は非常に厳しい状況は続いている。
- ・今後、公共交通が充実することが望ましい。

<阪井委員>

- ・本日、議論等を参考に、せたな町でも地域交通確保に努めたい。
- ・10月~来年3月までに新たな公共交通の実証運行を予定している。

- ・ これまでは患者輸送バスで運行していたものをデマンド交通化し、費用は上がるが利便性は向上する予定。

6. 閉会